

2017

4

月刊波

なみ

特集

こどもがてんかんと
言われたら

ヒラヒラと



舞う蝶々



JEPICA
Japan Epilepsy Center Association
全国てんかんセンター協議会



新病院の完成予想図

てんかんセンター巡り 第23回 鹿児島大学病院てんかんセンター

施設概要

- 住所 〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
- 電話 099-275-5828 (脳神経外科外来: てんかんセンター代表受付)
- アクセス JR指宿枕崎線「宇宿駅」下車
鹿児島市電「脇田電停」下車
「脇田電停前バス停」から、鹿児島市営バス・鹿児島交通バスの便で「大学病院」下車
- 病院HP <http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/index.html?jtpl=8>
トップページ⇒診療科(医科)⇒てんかんセンターへとお進みください
- 専門医 4名(うち指導医2名)

はじめに

鹿児島大学病院は、鹿児島市中心部から少し南に位置する桜ヶ丘の高台にあり、病院からは桜島や鹿児島湾を望むことができます。現在は病院の再開発中で、数年後には上のイラストに示したような、新しい鹿児島大学病院に変わっていきます。

鹿児島大学では、これまで複数の診療科が熱心にてんかんの診療を行ってきました。また、鹿児島大学出身者には、てんかん診療の

専門家が数多くおります。こうした経緯もあり、複数の科がそれぞれに担当しているてんかんの診療体系を明確にし、包括的なてんかん診療体制を作るために、2013年3月に全国でも早い段階でてんかんセンターを設置しました。

子どもから大人まで

神経内科、神経科精神科、小児科、脳神経外科など、てんかんの診療を担当する診療科は多岐にわたります。てんかんセンターでは、

てんかん専門医の医師がまず窓口となった後に、患者さんの年齢や病状に合わせて、それぞれ得意とする診療科での診察や治療を行うシステムをとっています。おおよそ中学校までは小児科、それ以降は成人科が担当し、難治例については合同のカンファレンスで検討を行います。

手術で改善が期待される難治例では、外科治療についても積極的に行っています。てんかん焦点の切除や発作波の広がりや抑制する遮断手術などの開頭術だけではなく、近年では迷走神経刺激術も導入され、外科手術の適応となる患者さんは増加しています。当院は都城市の藤元総合病院と連携して、南九州で唯一てんかんの外科治療を行う治療グループを形成しています。特に乳幼児の外科治療では、当初から小児科医が深く関わることで、精神発育や成長を考慮した上での外科治療を心がけています。

地域全体の てんかんに対する意識の向上

鹿児島県内に限っても、1万5千人程のてんかんのいる患者さんがいると推定されます。

専門施設や幾人かの専門医だけで診療が完結するのではなく、診断がつき病状が落ち着いている患者さんは、それぞれの居住地で治療を継続していただくこと

も必要です。一方で、本来は積極的な治療が必要でありながら、見過ごされがちにてんかん発作もあります。そのため、各地域で治療を受けながら、困った時にはセンターや専門医のいる施設へ相談できるような環境づくりを積極的に進めています。

また、地元で治療を受ける場合に、てんかんであることを公にしづらいという状況が、いまだに見られます。こうした現状を改善し、安心して地域で治療を受けることができるように、日本てんかん協会鹿児島県支部の世話の方々とともに、県内各地でのてんかん啓発活動にも積極的に取り組んでいます。

(てんかんセンター長 花谷 亮典)



てんかんセンターHP

